

川上公民館だより



【令和7年5月号】隔月発行

★ ★ ★ 【休館日：年末年始 / ご利用時間：公民館9時～22時・図書室9時～20時】 ★ ★ ★ ★



公民館講座が始まります！



令和7年度の中津川市公民館講座の申込受付期間は5月1日（木）～5月15日（木）です。講座の内容等は、今月配布の広報なかつがわ5月号と同時配布のチラシ等でご案内します。ぜひ、お申し込みいただきご参加ください。また、川上地区外でも多くの講座が開催されます。詳しくは公民館講座の冊子をご覧ください。



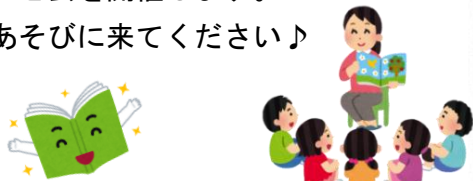
「もみじの里いきいき講座」

読み聞かせ会のお知らせ

と き：令和7年6月14日（土）
午前10時30分～11時00分
ところ：かたらいの里 集団指導室

◆6月14日（土）に開催する『かたらいの里温泉まつり』で、読み聞かせサークル「しゃぼんだま」による絵本や紙芝居の読み聞かせ会を開催します。

ぜひ、あそびに来てください♪



川上公民館図書室の年間貸出冊数は…



令和6年4月から令和7年3月までの本、雑誌の年間貸出冊数は以下のとおりでした。

※団体貸出や学校配本を除く個人貸出の冊数です。

	令和6年度	令和5年度（参考）
一般書	1,793冊	1,419冊
郷土資料	92冊	54冊
参考図書	0冊	1冊
児童書・絵本	2,365冊	2,202冊
雑誌	105冊	59冊
合計	4,355冊	3,735冊
開館日	355日	356日

令和6年度の年間利用者数（延べ人数）は、1,397人でした。（令和5年度は1,183人）前年度と比べて、貸出冊数が620冊多く、利用者、貸出冊数ともに増加しました。

読んでみたい本や図書室にほしい本等がありましたら、お気軽にご相談ください。



【5月の主な公民館の行事予定】



日にち	行事名	会場	対象など
23日（金）	乳幼児学級開級式	かたらいの里	学級生

新刊図書 (一部紹介)

予約やリクエストも
受付けています♪



いつかの朝日

村木嵐/著
集英社

室町幕府の権威が低下し、各地で戦乱が巻き起こっていた戦国時代。松平家が城を構える三河、周辺国である尾張、遠江、美濃らが絡む東海一円の覇権争いは熾烈を極めていた。幼少期から天下人まで、様々な視点で天下統一を果たした男・徳川家康を鮮やかに浮かび上がらせる連作短編集。



ラクに生きるための「心の地図」 セルフケアのメソッド 100

高井祐子/著
ナツメ社

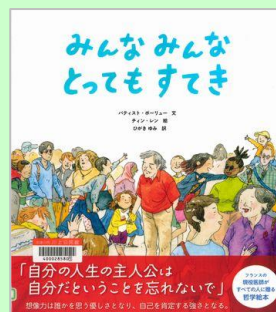
不安やストレスでいっぱい、怒りがおさえられないとき、「どうせ自分なんて」と悲観的になってしまうとき…。気持ちが揺れ動き、自分ではどうしたらよいかわからなくなった時に、自分の気持ちを立て直す方法を紹介する一冊。



今日も誰かの誕生日

二宮敦人/作
光村図書出版

誕生日が一日違いのいとこ同士、自分を産んだ母の気持ちに思いをめぐらす高校生、誕生日に突然の腹痛に見舞われる青年、念願かなって自分で自分の誕生日を祝う小学生、祝いたいのにならないう小学生、祝えない高校生、ケーキ職人と弟子入りしたい小学生。ある日の誰かの、バースデー・ストーリー。



みんな みんな とっても すてき バティスト・ポーリユー/文 チン・レン/絵 ひがきゆみ/訳 ひさかたチャイルド

お医者さんだったじいじの顔には傷が残っています。「傷跡みたいなものは、誰にでもあるんじゃないかな」と言います。街へ行くと、みんなが持つ体や心の傷について話をしてくれました。誰かの背景を想像する力や自己を受容する力の大切さを伝える絵本。

【一般書】

「ゆびさきに魔法」

三浦しをん/著 文藝春秋

「任侠梵鐘」

今野敏/著 中央公論新社

「親の家が空き家になりました」

葉山由季/著 潮出版社

「誘拐ジャパン」

横関大/著 小学館

「ドヴォルザークに染まるころ」

町田そのこ/著 光文社

「せいろでおかず蒸し」

ワタナベマキ/著 Gakken

「おいしく食べて、体ととのうまいにち栄養学」

あこ/著 ナツメ社

「普通の人のための投資」

桶井道/著 東洋経済新報社

「べらぼうに面白い蔦屋重三郎」

ツタヤピロコ/著 興陽館

【児童書・絵本】

「ピーチとチョコレート」

福木はる/著 講談社

「ショコラ・アソート」

村上雅郁/作 フレーベル館

「子どもだけでつくれる焼かないお菓子」

原亜樹子/著 東京書籍

「ガタンゴトンしょうてんがい」

古沢たつお/作・絵 PHP研究所

「かくれんぼしましょ!!」

フフフーン/作 ほるぷ出版

「おおきなて」

チェ・ドッキュ/作 ひだまり舎

「かえる場所」

千広兄弟/作 中央公論新社

「わんぱくだんのおおかみもり」

ゆきのゆみこ/作 ひさかたチャイルド

「みんなのいえ」

たしろちさと/著 文溪堂